

## 第4章 最終処分場建設工事に係る調査結果

### 第1節 大気質

#### 第1項 調査概要

建設工事中において重機の稼働台数が多くなり、大気への影響が大きくなると予測される時期に大気質調査を実施した。

##### 1-1 調査地点

調査地点は、図4-1-1に示した1地点とした。

なお、調査地点の選定にあたっては、今回の調査時期が冬季であり、当該地域の冬季における主風向（北西風）時に風下となる地点とした。

##### 1-2 調査項目及び調査時期

調査は重機の排気ガスからの影響を把握することから、窒素酸化物（ $\text{NO}_x = \text{NO} + \text{NO}_2$ ）、二酸化硫黄（ $\text{SO}_2$ ）を対象項目とし、調査時期は表4-1-1に示したとおり、重機の稼働台数が多くなり、大気への影響が大きくなると予測される時期に、1日間（24時間）実施した。

表4-1-1 調査項目及び調査期間

調査項目	調査年月日
窒素酸化物（ $\text{NO}_x$ ） 二酸化硫黄（ $\text{SO}_2$ ）	平成23年3月14日(9:00)～15日(9:00)

##### 1-3 調査方法

各項目の分析方法は表4-1-2に示したとおりである。

表4-1-2 調査項目及び分析方法

測定項目	分析方法
窒素酸化物（ $\text{NO}_x$ ） 一酸化窒素（ $\text{NO}$ ） 二酸化窒素（ $\text{NO}_2$ ）	一酸化窒素濃度と二酸化窒素濃度の合計量 一酸化窒素：昭和53年8月1日 環大企第287号の2 一酸化窒素測定方法 二酸化窒素：昭和53年7月17日 環大企第262号 ザルツマン試薬を用いる吸光光度法
二酸化硫黄（ $\text{SO}_2$ ）	昭和48年環境庁告示第25号 別表に示す導電率法

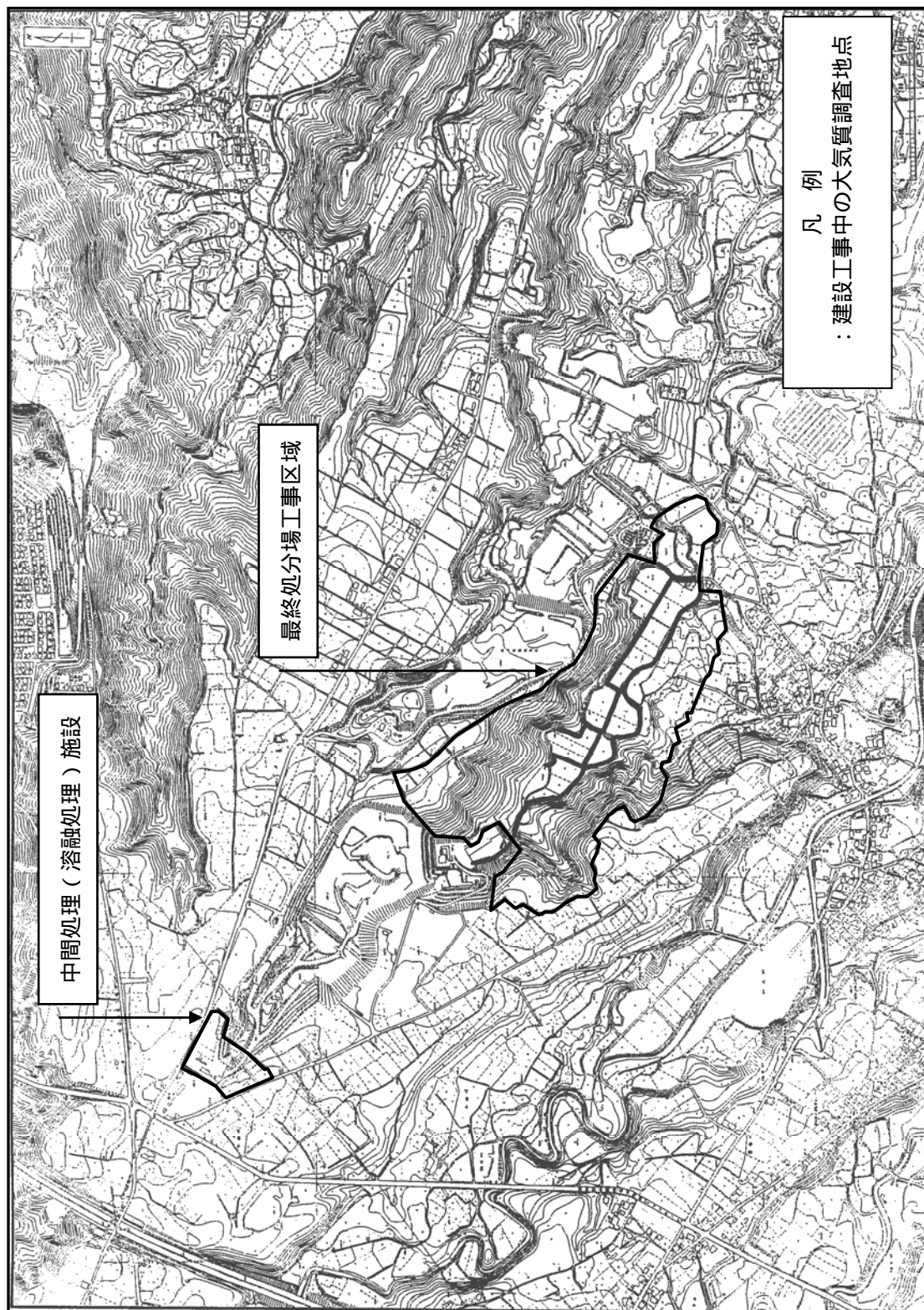


図 4 - 1 - 1 建設工事中の大気質調査地点

## 第 2 項 調査結果

調査結果は表 4 - 1 - 3 に示したとおりである。

また、測定当日の風配図は図 4 - 1 - 2 に示したとおりである。

### 1 - 1 一酸化窒素（NO）、二酸化窒素（NO<sub>2</sub>）、窒素酸化物（NO<sub>x</sub>）

日平均値はNOが0.005ppm、NO<sub>2</sub>が0.013ppm、NO<sub>x</sub>0.019ppmであり、環境基準の設定されているNO<sub>2</sub>は環境基準を下回る値であった。

また、1時間値の最大値はNOが0.022ppm、NO<sub>2</sub>が0.025ppm、NO<sub>x</sub>が0.042ppmであり、NO<sub>2</sub>では中央公害対策審議会答申の短期曝露指針値（NO<sub>2</sub>の1時間値が0.1～0.2ppm以下）を下回る値であった。

### 1 - 2 二酸化硫黄（SO<sub>2</sub>）

建設工事中の日平均値は0.006ppm、1時間値の最大値は0.014ppmであり、いずれも環境基準を下回る値であった。

表4 - 1 - 3 建設工事中大気質調査結果

項 目		NO (ppm)	NO <sub>2</sub> (ppm)	NO <sub>x</sub> (ppm)	SO <sub>2</sub> (ppm)
日平均値		0.005	0.013	0.019	0.006
1時間値の最大値		0.022	0.025	0.042	0.014
環境基準	1時間値の 1日平均値	-	0.04～ 0.06以下	-	0.04以下
	1時間値	-	-	-	0.1以下
指針値	1時間値	-	0.1～ 0.2以下	-	-

環境基準：「大気の汚染に係る環境基準について」（昭和48年環告25）

「二酸化窒素に係る環境基準の改定について」（昭和53年環告38）

指 針 値：「中央公害対策審議会答申の短期曝露指針値」（昭和53年3月）

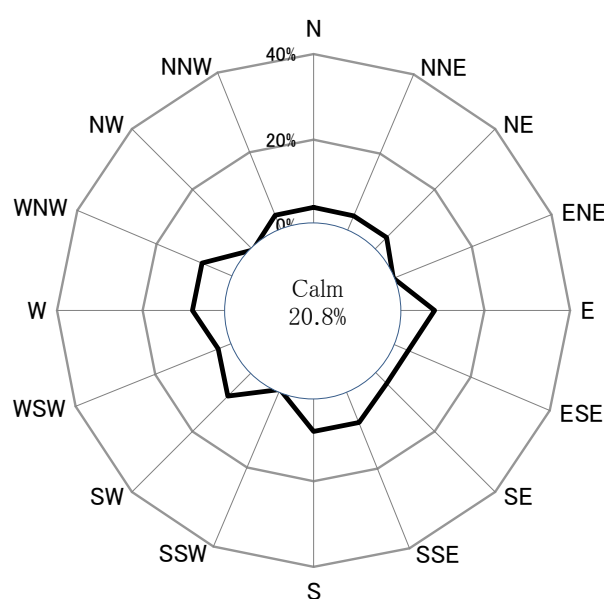


図4 - 1 - 2 測定当日の風配図：平成23年3月14日(9:00)～15日(9:00)